

# 産業技術短期大学校による産業人材の育成、供給強化の取り組み

## 1 定員充足のための取り組み

### ■高校への（教員向け）アプローチ

#### ○本校での高校担当教員向け学校説明会の開催

- ① 3 学年担当教員向け学校説明会（5 月末）
- ② 進路指導主事向け学校説明会（6 月末）※進路指導主事会議の会場提供
- ③ 2 学年担当教員向け学校説明会（1 1 月末）

#### ○高校訪問の実施

- ① 4 月…校長による新任校長や重点校への挨拶、学校案内資料等の配付
  - ② 6 月…学生募集要項の配付、オープンキャンパスと高校生ものづくり技能塾の周知のお願い
  - ③ 8 月…校長による工業系高校と普通科重点校への推薦 1 次募集に係るお願い
  - ④ 1 1 月…推薦 2 次募集に係るお願い
  - ⑤ 1 月…校長による普通科重点校への一般前期入試に向けたお願い
- ※ これまで行ってきた工業系高校を中心とした学校訪問に加え、普通高校に重点校を定め、更に効果的なアプローチを実施

#### ○県教育委員会への入学者確保の協力依頼

- ・本校への入学者の状況や就職状況等を説明し、入学者確保のための方策を協議するとともに協力を依頼
- 推薦 1 次入試合格発表後（1 0 月 3 0 日）  
一般後期入試受付開始前（2 月 1 8 日）

#### ○校長会等での本校の説明

- ・各高校の代表者が集まる機会での P R
- 高等学校校長会（1 1 月 1 0 日）の冒頭、入試関係等の資料配付と説明を実施  
進路指導主事会議（2 月 1 8 日）で、高校教育課から本校の募集状況等を説明

#### ○工業系高校との連携協定に基づく連携会議の開催（都留キャンパス）

（成果）

- ・優先入学制度の実施（H28 年度入学生 生産技術科 3 名、電子技術科 4 名）
- ・一貫教育プログラムの実施（コース分け授業、技能検定対策）
- ・教育活動についての相互協力（学校説明、出前授業、卒研発表会見学、技能検定について高校教員への技術指導等）
- ・機器、設備の相互利用

### ⑧ 普通高校との情報交換会の開催

- ・普通高校との連携を深めるため、普通高校を訪問して3学年担当教員との情報交換会を開催

開催時期：7～8月

開催高校：9校（市川、巨摩、白根、上野原、塩山、桂、富士河口湖、笛吹、山梨）

### ○本校在校生による出身高校への近況報告と本校のPRの実施

- ・2年生の秋頃、就職内定先と近況を高校時代の担任や進路指導部、部活動の顧問などに報告し、本校の学生生活が充実している旨、直接伝える機会とする。

訪問実績：9校へ25名が訪問

（甲府工業、甲府城西、巨摩、日川、上野原、谷村工業、富士北稜、富士河口湖、ひばりヶ丘）

### ⑨ 県外高校への訪問

- ・県外からの志願を促すため、八王子市と相模原市の高校を訪問（12月）  
八王子市内 5校、相模原市内 5校 計10校

### ■ 高校生へのアプローチ

#### ○オープンキャンパスの実施

- ・従来の学校説明会を「オープンキャンパス」として改善、授業見学や体験実習、在校生との交流を実施（塩山、都留で各4回実施）

### ⑩ サテライトキャンパスの実施

- ・甲府中心街の防災新館オープンスクエアにおいて、進学相談や授業見学ができる機会としてサテライトキャンパスを実施（8月29日）  
（小学生ものづくり体験教室も同時開催）

#### ○高校生ものづくり体験講座「ものづくり技能塾」の実施

実施時期 7月下旬～8月初旬

#### ○高校などが行う進路説明会への積極的な参加、本校への見学バスの積極的な受入 年間 30件程度

#### ○出前授業の実施

- ・高校訪問や意見交換会の場を活用し、本校の出前授業の積極的な受入を依頼  
H27年度実績 6校（甲府城西、北杜、韮崎工業、富士北稜、塩山、塩山北中）

### ⑪ 塩山高校学園祭への出展

- ・学校説明パネルや卒業研究成果品（3Dプリンタ、ゲームプログラム等）を展示

## ■入試制度の見直し

### ○入試日程の見直し

- ・進路指導や国公立大学等の合格発表の時期を考慮し、進路の決まらない者が本校を受験できるよう入試回数と日程をH26年度入学生募集から見直した。
- (改善点) ①推薦2次の新設 ②一般後期試験の日程を遅らせて3月下旬に実施

### ㊦高等学校長推薦による出願資格の変更

- ・出願者と高等学校の県内要件を削除し、県外からの推薦も認めるようH29年度入学生募集から変更する予定

## ■小中学生にものづくりの楽しさを知ってもらう機会の提供

### ○小学生ものづくり体験教室の開催

(H27年度実績)

- ㊦サテライトキャンパス (防災新館 8月29日)
- ㊦つる産業まつり (都留市 10月25日)
- 学園祭「産技祭」 (塩山キャンパス 10月31日)

### ㊦小中学校での出前授業の実施の検討

- ・H28年度に向け、小中学校での出前授業を実施するための打合せを峡東教育事務所、甲州市教育委員会などと開始

## ■広報の充実強化

### ○広報戦略会議の開催

- ・H26年度から広報戦略委員会を設置し、様々な媒体や機会を活用して学校の魅力を情報発信

### ○新聞の活用

(広告の掲出)

- ・山日新聞広告「キャンパスほっとナビ」への掲出 年2回(5月、7月)
- ・山梨新報特集広告の掲出 年1回(7月)
- (その他)
- ・記者クラブや地方支局への積極的な情報提供(投げ込み)

### ○ラジオCMの実施

- ・YBSラジオでのスポットCM 7月～8月 計13回
- ・FM富士 コーナータイム提供 11月～1月 計11回

### ○テレビ出演

- ・YBSテレビ「わくドキやまなし」 6月 高校生ものづくり体験塾
- ・UTYテレビ「ウッティタウン6丁目」 11月 コマ大戦

○県広報誌「ふれあい」への掲出  
掲載号 7月号、12月号、3月号

○市町村広報誌への掲出依頼

○イオンモール甲府昭和店へのポスター掲出  
県掲示板2カ所、12月～3月

⑨マイナビ進学サイトへの情報掲載

H28年3月から掲載を開始予定

○パンフレット『学校案内』の充実

・在校生からの意見や他大学の動向を反映し、より分かり易く魅力的な内容に改編

○ホームページの充実

・更新頻度の向上  
・全面的リニューアル（H28年3月リリース予定）

■その他本校の知名度向上のための取り組み

○イベント、コンクール等への積極的参加

- ・大学生観光のまちづくりコンテスト  
最高位の観光庁長官賞とJTB賞のダブル受賞
- ・ロボコンやまなし2015  
自律型ゴルフロボット部門 優勝、ソーラーカー部門 優勝、準優勝
- ・全日本マイクロマウス大会  
本戦出場
- ・手作りコマ大戦甲府場所
- ・甲州よっちゃばれ大会
- ・峡東CATVグルメ番組への出演
- ・Androidソフトウェアコンテスト  
ゲーム部門 最優秀賞
- ・Mt.Fujiイノベーションキャンプへの参加
- ・山梨テクノICTメッセ2015出展
- ・山梨県技能まつり出展
- ・都留工業交流展出展
- ・つる産業まつり出展
- ・企業との共同研究の実施
- ・ポール・ラッシュ祭（八ヶ岳カントリーフェア）ボランティア参加  
長年の活動が認められ感謝状が贈られる

⑨「大学コンソーシアムつる」の設立への参加

・構成メンバー：都留市、都留文科大学、健康科学大学、産業技術短期大学校

## 2 人材育成への取り組み

### ■産業界のニーズに対応した人材育成・教育の推進

#### ○専門科目のカリキュラムの見直し

- ・ものづくり系3学科（生産技術科、電子技術科、情報技術科）  
製品の企画、設計等のカリキュラムを充実するとともに、能力・適性に応じた習熟度別授業を実施
- ・観光ビジネス科  
着地型など多様な観光形態や富士山世界遺産登録、東京五輪開催に伴う外国人観光客に対応できるカリキュラムを導入

#### ○社会適応能力の養成

- ・学生が意見発表やグループ討議など実践する機会を創設
- ・マスコミ関係者や企業経営者等による講義
- ・企業経営者等との意見交換の実施  
(H27年度実績)

12月2日、ハイランドリゾートホテル&スパにおいて、都留キャンパス学生と富士東部地域の企業経営者との懇談会を開催

#### ○教育指導体制の充実

- ・教員を専門技術研修に計画的に派遣
- ・教育者としての意識を高めるため、職名を教授・准教授等に変更
- ・知識や技術の向上を図るため、工業技術センターとの人事交流を導入

## 3 就職実績の維持向上

### ■「就職率ほぼ100%」の維持と、就職実績の質的向上を図る取り組みを推進

#### ○就職支援体制の強化

- ・関係団体による「人材育成合同推進協議会」を設置し、企業等と連携して人材育成を推進
- ・キャリアセンターに専門職員2名を配置し、学生の就職活動の支援と求人企業の開拓を強化
- ・県内有力企業を重点的に訪問し、学生の採用を要請

#### ○インターンシップの導入

- ・企業見学型、現場体験型、事前研修型などのインターンシップを推進

#### ○就職対策の強化

- ・一般教育科目の「職業と社会」の中で、SPI対策を実施  
(※SPI試験：性格・能力を測定する検査)